



青年部部长あいさつ「21世紀を迎えて青年部は今、何をすべきか」

特集

- ・講演会「社会人としての話し方教室」 平成13年1月16日
- ・第10回保育セッション in 倉敷 平成13年1月17日～19日

ぬきうち保育園ほうもん

- ・あゆみ保育園（阿見町）

平成13年度 各委員会活動計画

青年部部員募集のお知らせ



この顔に
ピン
ときたら
青年部
です

21世紀を迎えて青年部は今、何をすべきか

青年部部长 川崎 誠

茨城県民間保育協議会青年部も2000年から2001年へと新しい年を迎え21世紀への新たなスタートを切る事ができました。

昨年は、茨城県民間保育協議会主催のオーストラリア海外視察への企画立案及び参加から始まり、年度始めの青年部全体会の開催、各委員会活動においては研修委員会主催の『選ばれる保育所の人事システム』『社会人としての話し方教室』の研修会や調査研究委員会の『県内各市町村の情報公開並びに広域入所について』の調査、広報委員会では広報誌『礎』の発行がありました。

その他、茨城県民間保育協議会や中央保育団体主催の各県集会への参加協力など、積極的な事業活動を展開し、それぞれの分野において青年部ならではの良さが出せたように思います。

これも、青年部役員並びに各委員会スタッフの努力により確立されてきたものと心より感謝申し上げます。そして、茨城県民間保育協議会会員各位のご協力にも併せて御礼申し上げます。今後、青年部へのご理解とご協力をお願い致します。

さて、21世紀を迎えて青年部は、今何をすべきかを考えて行きたい。

現在、少子化傾向になかなか歯止めがかからず、子供の出生率が現象している一方で、保育需要は増加の傾向にあります。

保育ニーズも多様化を要求されるなか、認可保育園の経営は民間企業等の多様な経営主体の参入を認める規制緩和が実施され『新会計の導入』がスタートしました。

また、『直接契約制度』や『パウチャー制』の導入についても議論されているところです。これは、保育界における競争化原理へのはっきりとした政策の現れであり、特に民間保育園はこの最前線での戦いを制して行かなくてはなりません。

施設ばかりでなく法人単位の経営の視野も含めて、激動の時代にどう対応して行くかを青年部としても考えて行きたいと思います。

今日、保育園の基礎となる部分は先輩方々がしっかりと築いてきてくれています。

そこへ、今世紀に最もふさわしい保育園をどう築いて行くのかを、これからの青年部活動のテーマとし、切磋琢磨していこうではありませんか。

特集

社会人としての話し方教室

講師 菅家ゆかり先生

H13.1.16



『社会人としての話し方教室』の 講演を聞いて

平磯保育園 保育士 清水裕子

今回、この研修に参加させて頂き、「日本語」について改めて考えることが出来ました。また、「言葉」を伝える大切さも感じる事が出来ました。

自分の思いを伝えることは、率直にそのまま言うのではなく一呼吸おいて、素直に自分の言葉を、どの人にも伝えたいと思います。



そして、その子、その人の状況をできるだけ把握して言葉で伝え、心のつながりができたらと思います。その為にも、きれいな日本語を勉強して行こうと思います。そして、即実行できる挨拶は、菅家先生に教えていただいた通り、相手の目を見て、たくさん酸素を吸って、お腹から声を出し、張りがあり、心のある挨拶を心掛けていこうと思います。特に一日の始まりである朝は、大事なと思いました。

子ども達に対する言葉使いも、普段、考えもせずに使っていたのですが、菅家先生のお話を聞いて、1人でも多くの子どもの為に、豊かで深みのあるきれいな日本語を感じてもらいたいと思います。その為にも私自身、日々努力して行こうと思います。

また、どの研修もそうなのですが、研修に参加する度に、自分自身の人間関係の輪が広がり、とても嬉しく思います。ありがとうございました。



第10回 保育セッションIN倉敷

平成13年1月15日～17日



保育セッションは、「その時どう考え、どう動く」というテーマと、サブテーマに「発想の転換」「臨機応変」という二つのキーワードがあり、自分が今まで持っていた固定観念を取り払い、頭を柔らかくし、一つの考え、一つの見方だけでなく、まったく反対側から物事を見、発想の転換を図り、臨機応変に対応・対処という

ことを問いかけた研修でした。茨城県内から10名の先生方が研修を受講いたしました。園にもどられて、それぞれ保育セッションで学んだこと感じたことを生かして、保育にお役立てください。

参加者の声

1. 全く知らない人の中で期待より不安が大きかったが、地域は違う人の集まりでも同業者と言うだけで親近感も持って同室の方とも仲良くなれたり、グループでテーマを探して歩いたり話し合う中、自分自身とてもプラスになったと思う。今までにない自分も発見できたり、一つの事を違う角度から見ることで見える物、感じるものがあつたと思う。観光とは違ってフィールドワークで美観地区を歩いたことで倉敷は忘れることの出来ない街になったと思う。保育園に帰ってまた、新鮮な気分でがんばりたいと思えるセッションになった。



2. この研修に来させてくれた園長先生にとっても感謝しています。自分が考えていたことを180度変えてくれたり、人と人のふれあいの大変さを教えてくれました。保育園に帰って研修の経験を生かしていきたいと思います。来年も参加させていただきたいです。園長先生お願いします！



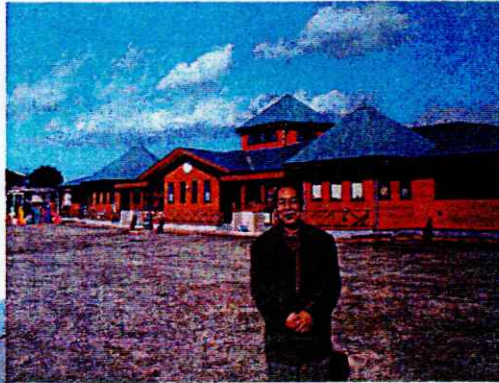
3. 今の時代、益々保育者の質が問われていることを知り、まずは社会人として、そして些細な事でも気づける保育者でありたいと改めて感じました。その時どう考え、どう動き、常に冷静な判断と子ども達にとっての最善を心掛けたいと思いました。

ぬきうち保育園ほうもん in あゆみ保育園

今回は、平成12年度開園したばかりの「あゆみ保育園」に訪問させていただきました。

園舎全景

園長先生の人柄を感じさせる木のぬくもりがやさしい園舎



ホールを中心として各教室へ繋がっています



ホール

ステージを食堂として使用できるようにステージ横に調理室があります

ホール中央には、吹き抜けがあり、開放感があります

赤外線センサー

赤外線センサーで、入室すると自動的に照明がつき、効率の良い節電ができるそうです



トイレの壁紙

消臭効果がある壁紙を使用することで、独特の匂いがありませんでした

平成13年度 委員会活動計画

研修委員会

- 視察研修会 7月頃予定
- パソコン研修会 9月予定
- 保育士研修会予定 H14/2月予定

調査研究委員会

- 調査テーマ
「延長保育の実態調査」

広報委員会

- 青年部通信 礎No.6 4月発行
- 青年部通信 礎No.7 2月発行
- 保育園訪問 2園予定

日本保育協議会青年部

- 全国青年保育者会議 11月予定 (開催地: 浅草)
- 保育セッション
- 青年部セミナー

全国私立保育園連盟青年部

- 全国私立保育園連盟青年部会議

青年部組織図



部員募集

あなたも青年部に入ってみませんか？
 お問い合わせは、青年部各委員まで！
随時募集しています。

～編集後記～

平成13年度が始まり、もうすぐ1ヶ月が過ぎようとしています。入園したばかりの子ども達も、保育園になれてくる頃だと思います。そろそろ泣きながら登園する姿が懐かしく感じるこれではないでしょうか？

近年、コンピュータの急速な普及により保育園でも、園日より等、園から発信する物が、手書きからコンピュータで作成した物に変わってきています。しかし、文書はコンピュータで作成できますが、中に入れるカットは未だにコピー機を使って、切り貼りしている園も多いのではないのでしょうか。

市販のコンピュータ用のカット集では、かわいいカットや目的にあったカットが、少なくて困っている人も居るのではないのでしょうか。中には、保育雑誌をわざわざコンピュータに取り込ませ作っている人もいるのではないのでしょうか？

先日、あちこちの保育教材を取り扱っているメーカーに問い合わせたところ、ほとんどのメーカーは、豊富にあるカットをコンピュータ用にしていないことがわかりました。それだけ、保育園のコンピュータ普及率が低いので対応してくれないのか、それともメーカーの対応がただ遅いのか、使いたい人が沢山いると思うのですが。